

第2学年 国語科 「1年生に『おもちゃ教室』をひらこう！」(全8時間)

『おもちゃ教室』をひらこう(東京書籍・2年下)

指導のねらい

- ・手順にそって話す事柄を順序立て、聞き手にわかりやすいように工夫して説明することができる
- ・「おもちゃの作り方やお遊び方を、1年生に分かりやすく教える」ことによって付けたい「言葉の力」
  - (1) 話のまとまりごとに順序よく話す力
  - (2) 聞く人に分かりやすく言葉を言い換えたりくわしくしたりする力
  - (3) 聞く人の様子を見ながら話す力

単元の実際

「おもちゃ教室」をひらこう！おもちゃの作り方を説明しよう

第1次 学習の見通しを立て、紹介するおもちゃを決める。

① 学習課題を確かめる。

◇「おもちゃ教室」をひらき、手作りおもちゃの作り方やお遊び方について1年生に分かりやすく説明するという学習課題を確かめる。

- ・手作りおもちゃの作り方やお遊び方を説明する活動に関心を持たせるために、昨年度の2年生の「おもちゃ教室」のことを思い出させる。

②③ 紹介するおもちゃを決める。

◇グループで話し合い、紹介する手作りおもちゃを決める。

- ・これまでに作ったり、調べたりした手作りおもちゃを話し合い、作り方の観点にそってグループで話し合いながら紹介するおもちゃを決められるようにする。

第2次 紹介するおもちゃの作り方やお遊び方の説明の仕方について考える。

④ 説明するのに大事なことがらを書く。

◇材料や道具・作り方について説明するときの大事なことがらをカードに書く。

- ・説明に必要な事柄を落とさずに、語と語や文と文の続き方に注意させて、カードに書くようにする。

⑤ 説明するための話し方について考える。

2ページ参照

◇分かりやすく説明するための話し方の工夫について考える。

- ・説明のモデルの文章やビデオを見ながら、分かりやすい説明の仕方について考え、話し合えるようにする。

⑥ 説明の練習をする。

◇1年生に分かりやすく説明するための話し方の工夫を振り返りながら、グループで練習する。

- ・学習した「分かりやすく説明する工夫」を掲示し、工夫を意識しながら話す練習をさせる。

第3次 「おもちゃ教室」をひらき1年生におもちゃの作り方、遊び方を教える。

⑦ 「おもちゃ教室」を開き、1年生に説明する。

◇「おもちゃ教室」を開き、練習した話し方の工夫や相手(1年生)を意識して説明する。

- ・1年生の様子を見ながら、「分かりやすく説明する工夫」を使って説明させる。

⑧ 学習を振り返る。

◇「おもちゃ教室」を振り返りながら、学習したことをまとめる。

- ・1年生の反応や感想などから、「分かりやすく説明する工夫」のできたところやむずかしかったところについて振り返らせる。生活の中でも使える場面を考えさせる。

◇ 主体的・対話的で深い学びの過程を実現する工夫

⑤ 説明するための話し方について考える

授業の実際

☆前時の振り返りをする。

◇作り方カードを読む。

- ・単元のゴールと本時のつながりを確認する。  
「作り方カード」には、
- ① 順番にそって番号がついている
- ② 短い文で書かれている・・・ことを確認する。

☆課題をつかむ。

1年生にとって分かりやすい説明の工夫を考えよう。

☆2つのモデルを見て、説明の工夫について考える。

◇1年生に分かりやすい説明の仕方を考える。

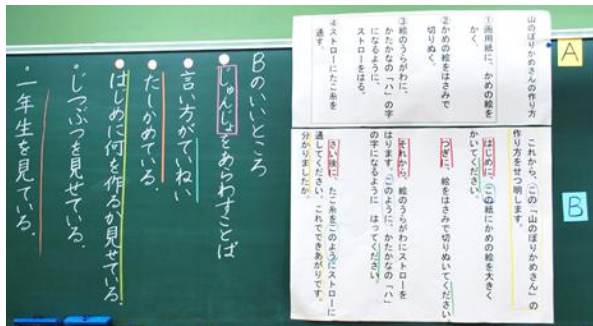
- ・2つの話し方モデル文（グッドモデルのBとバッドモデルのA）やビデオ（同様にグッドモデルのBとバッドモデルのA）を見比べたり、聞き比べたりしながら分かりやすい説明の工夫に気づけるようにする。

☆分かりやすい説明の工夫を確かめる。

◇モデル文やビデオから見つけた工夫を話し合う。

- ・子どもの言葉でまとめる。原稿に色別の線を引き、確かめる。

《分かりやすい説明の工夫のまとめの板書》



《ビデオの中で説明している文章》



《見つけた説明の工夫を使って練習をしている場面》

☆グループごとに練習する。

◇作り方カードを使って練習する。

- ・まとめた説明の工夫（Bのいいところ）のどれか1つ（もしくは複数）を使って、作り方カードに沿って説明できるように練習をさせる。

☆発表する。

◇自分のカードを使って発表する。

- ・説明のどの工夫を使うのかを意識させながら発表させる。
- ・聞く児童は発表している児童がどの説明の工夫を使っているのかを考えながら聞くようにする。

☆本時の学習をふりかえる。

- ・今日学んだ分かりやすい説明の工夫を自分たちの作り方カードに生かすようにする。

《前時で作成した『作り方カード』》

- ① 画用紙に、かめの絵をかく。
- ② かめの絵をはさみで切りぬく。
- ③ 絵のうらがわに、かたかなの「ハ」の字になるように、ストローをはる。
- ④ ストローにたこ糸を通す。



《説明の仕方のビデオ》

ビデオでは、作り方カードを読むだけのモデルがAで、相手を見ながら説明するモデルをBとした。



説明の工夫を使って発表する児童。教師は「どれが使えていた？」と聞くことで観点を示し聞かせるようにする。